

ハナク近キ將來ニ於テ必ズ世界ノ資本主義ハ行詣リフ生ズル。此世界ノ不況ヲ打開セントスル世界ノ流レニ二ツアル。一ハ獨逸、伊太利ニ於ケルファツシヨノ獨裁ト一ハ亞米利加ノ國家產業統制デアル。日本ニ於テモ國家ニ依ル產業統制ガ是非必要デアル。此點ニ關シ我労働組合會議モ政治委員會ニ於テ重視シ其運動ヲ行ツテ居ル又労働組合ハ健全ナル產業立國ニ向ツテ努力シテ居ルニ不拘資本家ハ非常時ノ名ニ蔽レ労働者ヲ壓迫シテ居ル彼ノ大機爭議、東京市電爭議ノ如キハ其現ハレデアル。資本家ハ労働者ノ生活確保、產業立國ニ立タズシテ資本ノ力ヲ以テ壓ヘテ居ル之レハ國家ノ大勢上ヨリ見テ大ニ考フベキデアル。

東京市電爭議ニ青年團、學生、在郷軍人ガ市ノ方へ應援ニ參加シナカツタコトハ一般民衆ガ既ニ目醒メテ來タコトヲ証スルモノアリ。喜バシキ次第デアル。日本ノ労働者ガ生活ヲ守ルニハ組合ヲ作リ労働條件ノ改善ヲ計リ全体ノ立場ヲ守ラナケレバナラヌ、コ

論會實錄卷之三